

みなさんと議会を結ぶ……議会だより

の 議会ゆがわら

平成23年9月

No.79

湯河原町議会のホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>
湯河原町議会のE-mail gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

編集/発行 湯河原町議会
〒259-0392
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1
TEL 0465-63-2111(代) FAX 0465-63-9674



6月
定例会

6/2~15

議会報告会を
開催しました

5月19日(木) 文化福祉会館にて

● 主な内容 ●

代表質問	2
一般質問	4
議会報告会	6
一般会議	8
委員会だより	10
審議と賛否	12

6月定例会

平成23年第4回湯河原町議会6月定例会は、6月2日から6月15日までの会期14日間（本会議開催3日間）にわたり開催されました。

この定例会では、条例、補正予算、指定金融機関の指定、人事など議案10件を審議しました。

代表質問

所信表明に対する各会派の代表質問

※代表質問とは…

「町長の市政に関する所信表明」演説に対し、各会派を代表して質問をするものです。紙面の都合により、代表質問の一部のみを掲載しております。

協創会

高橋延幸議員

Q 「安全で安心なまちづくり」について

1つ目の柱の「安全で安心なまちづくり」について伺います。町民の皆さんの防災への意識や知識を高めていくため、過去の歴史、国や県が公開する想定、町が準備している内容なども整理して、湯河原町独自の防災

マップなどを作成することや、様々な型の避難訓練を盛り込んだ防災訓練の実施について町長のお考えを伺います。

A 防災マップの作成に当たっては、国や県などの資料を収集し、歴史に裏づけされた事実を踏まえ、

気象庁や専門家などの最新情報も活かし、地域の意見を参考にし、町の地勢や地域性、避難情報などを盛り込んだ、独自性のあるものとなるよう努めたいと考えています。今後の防災訓練については、地震災害だけの想定ではなく、津波避難対策として、新たに設定した避難経路を利用しての高台や津波避難ビルへの避難訓練などのほか、夜間訓練や風水害を想定した避難訓練などについて、自主防災組織や防災関係機関、学校などと連携し

ながら、より広範囲な内容の訓練を実施し、自助・共助といった個人での災害への備えや地域における災害に対する意識の高揚を啓発することなどを進めていきたいと考えています。

Q 「元気なまちづくりの応援」について

3つ目の柱の「元気なまちづくりの応援」では、「子育ての応援」と「魅力ある学校教育の応援」について伺います
①中国・四川大地震を教訓に教育施設からはじめた耐震化も、小学校、中学校はすでに完了し、保育園へと移行してありますが、5園ある保育園のうち、4園がまだ耐震化が済んでいない現状であります。今後のスケジュールについて伺います。

②「中学校給食の導入に向けた本格的な研究」について中学生の保護者ももとより、小学生の保護者も含めた、幅広い意見を伺う「検討会」的な組織を立ち上げて議論を深めることも一案ではないかと思いますが、町長のお考えを伺います。

A

①みやのうえ保育園については、平成22年度に耐震診断を実施し、今年度は、耐震化工事に係る実施設計及び補強工事を実施します。

②中学校給食の導入に向けては、今年度に耐震診断を行い、平成24年度以降の耐震化工事を検討したいと考えています。

八雲保育園と、まさご保育園についても入所児童の安全確保のため順次検討、整備を進めていきたいと考えています。

け課題を解決するため保護者、学校、教育委員会、町の考え方を統一することが必要であり、デリバリー方式、給食センター方式など、幅広い意見を伺う検討会を立ち上げ、教育委員会と連携して推進していきます。

明政会

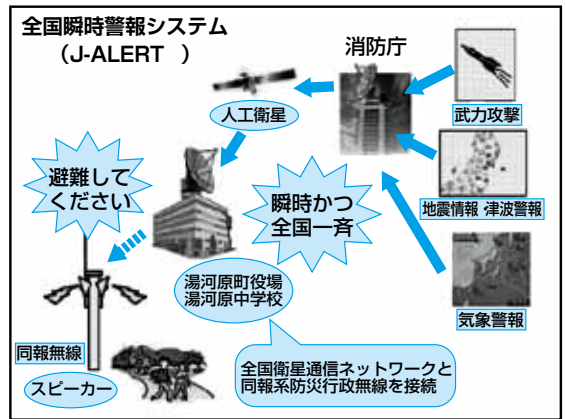
原田 洋議員

Q 「安全で安心なまちづくり」について

1つ目の柱の「安全で安心なまちづくり」について伺います。①緊急避難経路をいつ頃までに明示されるのか。②防災行政無線デジタル化を平成22年度から着手していますか、全国瞬時警

報システム（J-ALERT）による緊急情報伝達、保育園、小・中学校、公共施設への防災行政無線の館内放送設備への接続の実施予定はいつ頃ですか。

①緊急避難経路の設定時期は、新たな津波避難ビルの指定作業、海抜表示板の設置事業とあわせ、自主防災組織でもある区会の協力をいただき、7月末を目途に作業を進めております。②湯河原中学校への全国瞬時警報システム（J-ALERT）設備の整備は、今年の10月末までに完了するよう作業を進めています。湯河原中学校以外の各施設への防災行政無線の館内放送設備接続工事については、工事の優先順位、必要性、施工内容などを考慮した上で、



具体的な整備計画を検討したいと考えています。

Q 「行財政改革のさらなる推進」について

2つ目の柱の「行財政改革のさらなる推進」について、5つの施策が掲げられていますか、概算の金額を示してください。

5つの施策のうち、1つ目の「町長をはじめとする特別職の給料の20%カット」では、4年間でおよそ4,600万円を見込んでいます。2つ目の「高齢職員の給与抑制等、総人件費改革の推進」では、現行の「昇給停止制度」について、国の「昇給抑制制度」にあわせて改めることで、4年間でおよそ380万円の削減を見込んでいます。3つ目の「管理職数の見直しと職員数をさらに10%削減」については、行政サービスの質を低下させずに消防職や保育士等を除き、常勤職員をさらに10%、21人を削減することを目標とし、4年間で、およそ1億8,300万円の財政効果を見込んでいます。そのほかの施策については、現段階で具体的な効果額を示すことはできませんが、「行財

Q 「元気なまちづくりの応援」について

3つ目の柱の「元気なまちづくりの応援」についての「心のかよう環境整備の応援」では、「駅前広場整備計画」策定に係る経費の計上と なっていますが、完成目標年次をいつと考えているか伺います。

駅前整備の完成の目標年次は、その基本計画に示された内容と概算工事を基に、町の全体事業とのバランスを考慮して設定していきたいと考えています。

一般質問

※一般質問とは…

議員が本会議で、議長の許可を得て、町政全般（一般事務、事業の執行状況、将来に対する方向性など）について、町長など執行機関の考え・方針を議員個人として質問することです。

質問内容は、あらかじめ議長に通告しなければなりません。

Q 東日本大震災の発生を教訓として、本町が取り組むべき項目について

室伏友三議員

①従来の訓練から脱却したより具体的な総合防災訓練は考えているのか伺います。

②東日本大震災の教訓を消防署、消防団として今後どう活かしていくか伺います。

③災害時に緊急援助隊が組織されると思うが、未整備であったり、耐用年数が経過している物品のリニューアルや新規購入について伺います。

A

①今後の防災訓練では、津波避難対策（津波避難ビル追加のための調査・交渉、海抜表示板の設置等）を活かし、新たに設定した避難経路を利用したの高台避難訓練や津波避難ビルへの避難訓練を実施するほか、自主防災組織が主体となり避難所を運営する訓練など、町民が自ら参加、実施する訓練としていくとともに、自主防災組織や防災関係機関、学校などと連携し、より実践的な内容の訓練となるよう検討を行っていきたくと考えています。

②「震災警防計画」の見直しを行い、消防職員及び団員に対し、震災消防

Q 湯河原町の防災対策について

佐藤 恵議員

災害時における要援護者（障がい者、高齢者、妊産婦、乳幼児など）の避難場所として、ホテルや旅館と協定を結ぶ必要があると思いますが、お考えをお聞かせください。

活動についての教育と訓練を定期的に継続し、救急講習会などで町民自ら災害から身を守るための啓発活動に取り組んでいきます。

③装備品については、整備計画を立て、リニューアルや新規購入していきたいと考えています。

A

災害時要援護者に対する避難支援対策は重要で

あり、その充実、強化は必要であると考えます。現在、本町では、避難施設として地域会館や学校の体育館等23か所を一時避難所として指定しています。個別対応の確保が必要となった場合、介護施設を避難施設として利用できるよう、6施設と協定を交わしています。また、観光客などの帰宅困難者への対応としては、湯河原温泉旅館協同組合と避難収容施設として提供する覚書を交わしています。災害時要援護者の避難場所として、ホテルや旅館と協定を結ぶことについては、避難者の状況や様態により個別の対応が必要と考えられますので、今後、先の覚書などにおいても災害時要援護者への対応を踏まえた内容とすることを検討していきたいと考えております。

Q 小児医療費助成対象年齢の引上げについて

小澤真司議員

小学校卒業まで年齢を引き上げて、子育てのしやすい町にする一つの方策として検討していただきたいと思いますが、町長のお考えを伺います。

A

本町の小児医療費助成事業は、平成20年10月に県の小児医療費助成事業実施要綱が改正されたことに伴い、通院に係る小児医療費の助成について、助成対象年齢を3歳未満から小学校就学前に拡大しました。

議員の提案のとおり小学校卒業まで助成対象年齢を拡大して試算しますと、拡大分に要する費用は、町負担が年間約2、



200万円の増となりま
す。
保険対象の医療費分を
町が負担することにより、
疾病の早期受診がしやす
く、重篤化が防げ、安心
して子どもを産み、健や
かに育てることのできる
環境づくりのためにも助
成対象年齢の拡大は、効
果的なことと認識してい
ますが、現在の厳しい財
政状況では、町単独での
実施は困難であると考え、
今後、助成対象年齢の
拡大などについて、町村
会を通じて、引き続き県
に要望してまいります。
【その他の質問】
・夏場の節電対策につい
て

下部に1基設置されてい
る緊急用自家発電機は、
仮に中程度の津波でも水
没のおそれがあります。
燃料については、流動床
焼却炉と同じタンクを利
用しており、独立したタ
ンクを高いところに設置
することが必要である
と思いますが、その対策
について伺います。
②地盤の軟らかい埋立地や
水田であった土地の液状化

Q 海岸埋立地及び下水道処理場の地震・津波対策の大幅見直しについて

丸山孝夫議員

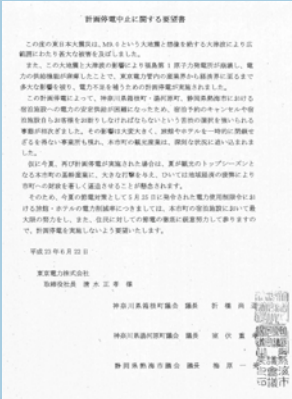
町長は、選挙のときに1番の柱として「安全で安心のまちづくり」と言われている中、地震・津波対策の強化を踏まえ、次のことについて伺います。

対策については、どう考えているのか伺います。
A
①浄水センターでは、平成23年度から水処理施設などの長寿命化計画策定業務に着手いたしますが、浸水対策についても、国の提言を踏まえながら検討し、機能の強化につなげていきたいと考えています。
②「神奈川県地震被害想定調査報告書」によると本町において液状化の可能性は、極めて低いと報告されており、今後も、町民の皆様が、安全で安心して暮らしていけるよう液状化対策の情報収集、施策の検討などに努めていきたいと考えています。

「計画停電中止に関する要望書」を提出しました



6月22日(水)、計画停電中止を求め、熱海・箱根・湯河原の1市2町の議長が東京都千代田区の東京電力本店を訪れ要望書を同社役員に手渡しました。



広域行政推進協議会観光展に参加しました

7月9日(土)に東名高速道路 海老名サービスエリア下り線で、熱海・箱根・湯河原の1市2町による初の「広域行政推進協議会観光展」が開催され、町長・議長・副議長・広域行政特別委員会委員長・副委員長が参加しました。
当日は、各議員も各市町の職員に加わり、観光パンフレットやうちわ等の配布を行い、宿泊券などが当たる抽選会を午前・午後の2回実施しました。



議会報告会

テーマ：「平成 23 年度予算の主な事業」

第1回議会報告会

日時：平成 23 年 5 月 19 日（木）
午後 7 時～9 時
会場：文化福祉会館
参加者：35 人

第2回議会報告会

日時：平成 23 年 5 月 21 日（土）
午後 2 時～3 時
会場：役場第2庁舎3階会議室
参加者：10 人

今回の議会報告会は、議長から報告会開催の趣旨、議会の役割と仕事、予算全体の概要の説明をさせていただき、出席議員が、平成23年度予算の主な事業から次の項目に

議会報告会内容

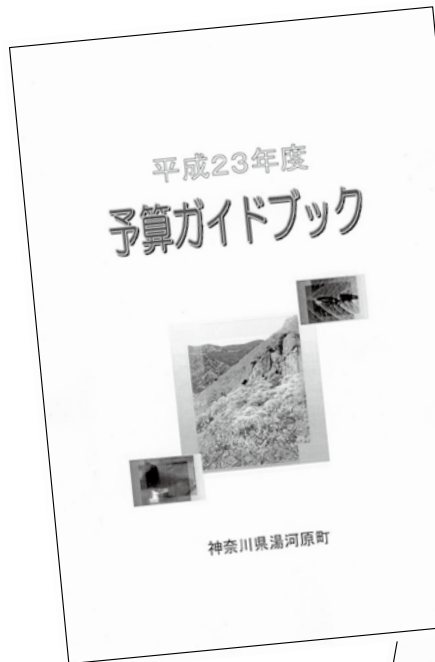
湯河原町議会基本条例の規定に基づき、湯河原町議会が主催して開催するもので、
①議会の活動状況（主な議案の審議の経過）
②新年度予算の主な事業
③町政の重要課題
などの特定のテーマについて、私たち町議会議員が直接、町民の皆さんに説明し、意見交換を行うものです。
私たち議会は、これらの活動を通じ、町民の皆さんの声をお聴きし、町政に反映させていくことを目的としています。

議会報告会とは・・・

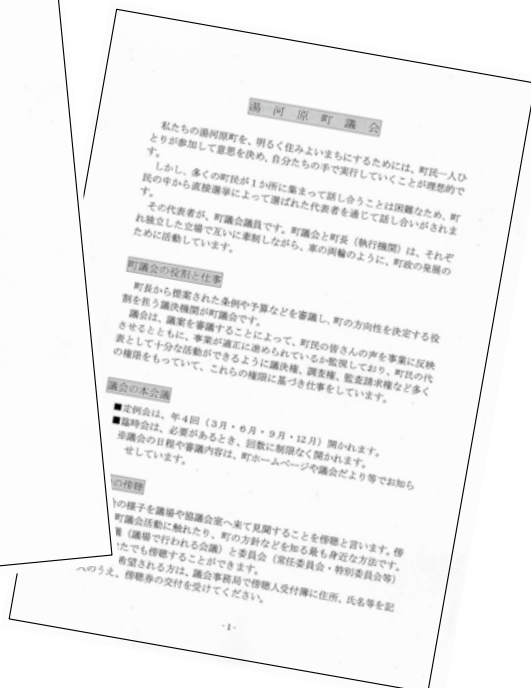
ついて1人が1事業の内容を説明しました。

平成23年度予算の主な事業について

- 1 議会映像テレビ中継システム整備事業について
- 2 総務文教・福祉常任委員会所管の予算（総務費・民生費・衛生費の一部・消費費・教育費）についての概要説明
 - (1) メール配信サービス事業
 - (2) 生活支援事業
 - (3) 子育てサロン運営事業
 - (4) 防災備蓄品購入事業
 - (5) 放課後児童健全育成事業（学童保育）
- 3 環境・観光産業常任委員会所管の予算（衛生費の一部・農林水産業費・観光商工費・土木費）についての概要説明



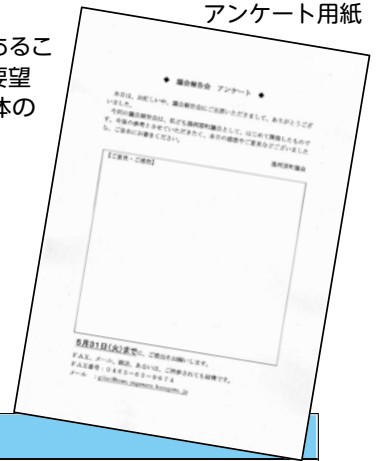
当日の資料



- (1) 環境保全推進事業
 - (2) 有害鳥獣等被害対策事業・地域水源林整備事業
 - (3) 商店街振興事業
 - (4) 住宅リフォーム助成事業
- 説明終了後、質疑を行い、その中で出された町政に関する意見・提言の中で重要な2項目について平成23年6月15日付けで、町長及び教育長に通知しました（8ページに掲載）。

質疑内容
(要約)

- 1 東日本大震災の津波の被害から、中学校が現在の場所で不安であること、また、中学校の防災備蓄と防災無線を使っでの連絡についての要望
- 2 予算額（一般会計）80億円のうち1%程度の説明でなく、全体の説明がほしかった。
- 3 観光立町推進条例の「おもてなしの心」が分からない。それを言うなら子どもに優しいまちにしてほしい。
- 4 湯河原町議会基本条例の見直しについて
 - (1) 通年議会の開催
 - (2) 日曜・夜間の開催
 - (3) 1問1答方式
 - (4) 町長の反問権
 - (5) 町民説明会



アンケート結果 (抜粋)

No.	内 容
1	比較的若い年齢層の方が参加していて、議会に対して強い関心があるということに、報告会の意義があったと思う。中学校の移転問題に集中していましたが、説明・議論の時間が少なかったと感じた。 他の人達もご意見や要望があったのではと思います。 津波（東日本大震災後のこと）で、不安が増幅している町民（親）が、湯河原町だけではないので、防災対策は最重要課題です。今後、住民への説明責任とパブリックコメントは必須
2	県の想定津波の設定を待っているのではなく、町で専門家を呼んで、独自の防災体制の見直しをしてほしい。 中学校を今の場所にするなら、土地のボーリング調査など、親をちゃんと納得させるデータを提示してほしい。 中学の避難場所を見学したが、海側校舎の3Fに避難していた。国の避難ビルのガイドラインは、想定浸水深3mで4F建以上である。これでいいのか。
3	予算の説明は、行政がやるのが本来の姿であると思う。 議会は、予算の検討に当たって、どのような意見を出し、結論を出したのか聞きたかった。再検討してもらいたい。
4	予算ガイドブックがとても分かりやすく見やすい。 議会報告会としては、どのような議論がされてきたのか聞きたい。
5	80億という大きな予算の全体像は分かったが、予算構成比の高いものについての説明が不足している。 何十万、何百万という少ない構成比についての細かい説明より、高いものについて議論すべきだと思う。 予算報告を聞きたかったのに、中学の話がメインで残念
6	中学校移転反対派の集合であった。
7	中学校を今後どうするのか？来年度、旧湯高を購入する予定なのか、ということを早く明らかにしてほしい。 大事な子どもを湯河原中学校に通わせるわけにはいかない。 もっと町の人の意見をしっかりと聞いて、行政に反映させてほしい。
8	内容の説明がわかりやすく、町民への責務を十分にできている。参考になった。
9	町議の顔と声を知ることができてよかった。報告に関しては、担当文章を読むだけで意味があったのか。 前に文書を配布し、疑問箇所の経過説明などに時間を使ってほしかった。 国や県の指示待ちの感、議員がもっと町独自の考え方を明確に示し、独自のまちづくりをすべきではないか。町民には、それぞれの分野でのスペシャリストが沢山いるので、皆さんに協力願って、もっと誇りをもてる町になるよう力を尽くしてほしい。
10	各事業についてどの程度の費用対効果をあげるつもりなのか。また、決算時についてもどれだけの費用対効果が上げられたのか、それぞれの見込みと検証を行い、町民に知らせるべきである。 (1) 水道料金、固定資産税、町民税など町税の中の個々の累積の滞納額をそれぞれ示していただきたい。 (2) 全体額の数パーセント程度の説明を受けても納得できない。 (3) 法人町民税が随分少ないと思うが、業種別にどの程度の収入があるのか内訳が知りたい。
11	(1) 今回の地震の影響で、連動して他の地震も起きやすく、大きくなることも懸念されると専門家も述べているので、是非、危機感を持って防災対策に取り組んでほしい。 (2) 中学校について、町長、町の広報は、「8.5mまでは安全」と回答していますが、誤解を招く説明。 地域政策課は、「浸水しないわけではないし、何をもって安全というかによる。津波による浸水まで1～5分」とも言っている。1分で600人全員が逃げられるのか。そのような所に学校を移転しないでほしい。 どうしてもするのなら、専門家を入れて避難計画を万全にしてほしい。 議会にも責任があると思う。
12	議会報告会をもっとPRをしてはどうか。 報告会は、「予算ガイドブック」による内容の説明でしたが、「予算ガイドブック」を参加者に渡すのなら、もうひと工夫して、別紙にそれぞれ説明する議員の一覧表と内容の表題を付けたら、もっと分かりやすいと思った。

議会報告会の結果を踏まえ町及び教育委員会へ通知した事項

1 湯河原中学校の安全対策について

今回の議会報告会のテーマではありませんが、意見交換の中で、「3月11日に発生した東日本大震災を受け、津波の際に、湯河原中学校が現在の場所では不安である。」といった意見が多数出ました。

町では、東日本大震災発生以降、中学校生徒の安全確保を図る全国瞬時警報システムの導入など、すばやい対応を図っておりますが、次代を担う生徒が安全・安心な教育環境のもとで学ぶことができよう、今にも増して安全・避難対策の推進や不安を抱えている保

護者の皆様へ、十分な説明責任を果たすことを要望します。

2 町民の声を十分に反映した「湯河原町観光立町推進計画」の策定について

「観光を推進していく中で、「おもてなしの心」と言われているが、具体的にどのようなことをすれば良いのか見えてこない。「おもてなしの心」というなら、子どもに優しいまちにしてほしい。」



第2回 議会報告会

という意見が出ました。平成24年度を初年度とする「湯河原町観光立町推進計画」の策定に当たっては、当該意見のような「町民の生の声」を十分に反映した計画となるよう要望します。

◆議会報告会 次回の開催について

今回は、「震災後の補正予算」及び「平成22年度決算」の主な事業と審議内容をテーマに開催します。

第3回議会報告会

【日時】

10月27日(木) 午後7時～

【会場】

川堀会館2階大会議室

第4回議会報告会

【日時】

10月28日(金) 午後7時～

【会場】

地域福祉センター6階大会議室

平成23年度第1回湯河原町議会一般会議

日 時：平成 23 年 7 月 14 日 (木) 午後 4 時～5 時 30 分
場 所：青巒荘
出席者：町議会議員全員 15 人
(社)湯河原温泉観光協会・湯河原温泉旅館協同組合 10 人

一般会議とは・・・

私たちが町議会議員と町内で活動している各種団体の皆さんなどが、町政に関する事、議会活動への意見・要望、町政や議会への提言などについて、幅広く自由に意見交換を行う場です。

議長に開催のお申込みがあった場合、議長の諮問機関である「議会運営委員会」で、開催する必要があるかどうかを協議し、開催を決定させていただきます。

なお、お申込みに当たっては、日程の調整や会場の都合などがありますので、申込書を提出される前に、事前に議会事務局までご連絡ください。

今回、初となる一般会議は、(社)湯河原温泉観光協会及び湯河原温泉旅館協同組合の申出により開催しました。

会 議 内 容

1 社湯河原温泉観光協会及び湯河原温泉旅館協同組合の活動内容について

- (1) 社湯河原温泉観光協会の決算書について
- (2) 東日本大震災被災者短期受入事業について
 - ア 岩手県陸前高田市・大船渡市

期間：平成 23 年 4 月 16 日(出)～ 18 日(月) 2泊3日
受入人数：39 人 宿泊施設：14 軒
 - イ 宮城県松島町・東松島市

期間：平成 23 年 6 月 6 日(月)～ 8 日(水) 2泊3日
受入人数：89 人（ボランティア 3 人含む。） 宿泊施設：21 軒
- (3) サマー&オータムキャンペーン事業の途中経過について
 - ア プレミアム付旅館利用券の発行
 - ・現在の販売額・新聞広告等
 - イ 大手旅行エージェントへのプロモーション活動等
 - ・個人及び団体客誘致の状況
- (4) その他

神奈川集中観光キャンペーン実行委員会による今後のキャンペーンの展開

 - ア 「初夏のかながわ再発見キャンペーン」
 - イ 「秋のかながわ再発見キャンペーン」
 - ウ 「宿泊キャンペーン」
 - エ 「WEB キャンペーン」



陸前高田市・大船渡市の皆さんと湯河原芸妓屋組合の皆さんとの交流の様子

2 インターネット事業の概要について

- (1) 楽天トラベル

2010 年 12 月～ 2011 年 3 月のプロモーション効果測定
- (2) リクルートじゃらん

2011 年「梅の宴」プロモーション活動



一般会議の様子

3 意見交換

- ・ プレミアム付旅館利用券の予算の執行状況・販売方法・広告の効果等について
- ・ 東日本大震災以後の宿泊者数の推移について
- ・ WEB キャンペーンの実施時期・内容等について
- ・ インターネット事業における予算額・他の観光圏との比較・アンケート等について

委員会だより

総務文教・福祉常任委員会

〔6月9日〕

○主な報告事項

●平成23年度湯河原町総合防災訓練

総合防災訓練の日程（8月28日(日)開催）と中央会場の場所の報告を受けました。

●工事の入札参加資格者に対する等級格付に係る主観点の導入

今年の7月から導入される工事の入札参加資格者に対する等級格付に係る主観点の説明を受けました。

●ファミリーサポートセンター調査事業

ファミリーサポートセンター設置に向け、7月に実施するアンケート調査の報告を受けました。

●平成23年度国民健康保険料

国民健康保険料の当初予算概要、保険料率の算定結果、収入見込の報告を受けました。

●国民健康保険被保険者証の一斉更新

更新時期、更新方法、記載内容、材質変更の報告を受けました。

●平成22年度ヘルシーラザ利用状況

平成22年度放課後子ども教室（そよかぜきょうしつ）の実施状況

●平成22年度放課後児童健全育成事業（学童保育）の実施状況

〔7月15日〕

○所管事務調査

●平成23年度湯河原町総合防災訓練

総合防災訓練の計画の説明を受けました。

●平成22年度町税等収納状況

町税等の収納状況の説明を受けました。

明を受けました。

環境・観光産業常任委員会

〔6月7日〕

○主な所管事務調査

●駅前広場構想案

整備計画図、屋根や駅構内の提案、交通・歩行空間・施設のユニバーサルデザイン等の構想案が示されました。

○主な報告事項

●温室効果ガス削減プロジェクト活動報告

町施設の昨年度の省エネ実績及び今年度の湯河原町節電行動計画の報告を受けました。

●農産物放射能濃度測定結果及び経過

県内で生産された農産物の放射能濃度の測定結果と経過並びに今後の生産者への対応及び県の支援対策の報告を受けました。

●平成23年度夏季行事実施

●施計画

海水浴場開き・やっさまつり・海上花火大会等の夏季行事の計画の説明を受けました。

●箱根・湯河原・熱海・あしがら観光事業

平成22年度の事業実績の報告と今年度の実施が予定されている事業の説明を受けました。

●湯河原町観光立町推進計画の策定

計画の策定に当たっての基本的な考え方、推進計画の基本的な事項と今年度のスケジュールの説明を受けました。

●被災者支援のための水道料金及び下水道使用料の減免の措置

東日本大震災により、本町に避難されてきた被災者の方の水道料金及び下水道料金を減免する説明を受けました。

●平成22年度こどもの湯、観光会館、独歩の湯利用状況

平成22年度の本町と真鶴町との水道事業の広域化研究会の活動の報告を受けました。

●平成22年度湯河原梅林「梅の宴」結果報告

●海浜公園テニスコート利用状況

行政課題等調査特別委員会

〔6月13日〕

福祉会館・観光会館の使用料の見直しと公の施設の使用料等の減免基準（案）の審議をしました。

〔7月15日〕

平成22年度の本町と真鶴町との水道事業の広域化研究会の活動報告と町上水道事業及び簡易水道事業の現状の説明を受け、審議しました。

広域行政特別委員会

〔6月13日〕

平成22年度の本町と真鶴町との水道事業の広域化研究会の活動の報告を受けました。

また、本町と真鶴町との共同処理事業の事業計画（案）や予算（案）などを審議しました。

7月25日

本町と熱海市との広域行政推協議会の事業計画（案）や予算（案）などを審議しました。

主な条例の制定・改正

湯河原町防災基金条例（制定）

東日本大震災を教訓に、安全で安心なまちづくりに係る事業と災害時の復旧事業や復興事業に基金を活用できるようにするために必要な事項を規定するものです。

主な質疑

- ・ 小規模災害と大規模災害との復旧・復興事業費に充てる場合のバランスはどうか考えているのか。
・ 基金の趣旨に沿う寄附

金の広報の方法は。

湯河原町暴力団排除条例（制定）

安全で安心して暮らすことができる社会の実現のため、暴力団排除について基本理念を定め、町や事業者の責務と町民の役割を明らかにし、暴力団排除に関する施策の総合的な推進を図るために必要な事項を規定するものです。

主な質疑

- ・ 不当要求に対する措置は。
・ 警察との情報交換・収集はどの程度しているか。
・ 町民の理解と参加をどのように形で作っているか。

湯河原町営住宅条例（一部改正）

湯河原町暴力団排除条例の制定に併せ、町営住宅への暴力団員等の入居を規制する規定を設けるものです。

湯河原町常勤の特別職員給与に関する条例（一部改正）

副町長及び公営企業管理者の給料月額を減額するために必要な事項を規定するものです。

内容

現在15%削減した水準で設定している給与月額を町長と同様に20%削減
副町長 56万9千円
↓54万円
公営企業管理者 51万2千円↓48万6千円

湯河原町教育長の給与その他の勤務条件に関する条例（一部改正）

教育長の給料月額を減額するために必要な事項を規定するものです。

内容

現在15%削減した水準で設定している給与月額を町長と同様に20%削減
52万7千円↓50万円

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

深澤昌光さんの任期が平成23年9月30日で満了となるので、引き続き深澤さんを人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。

前任者の任期が平成23年9月30日で満了となるため、新たに小澤千鶴子さんを人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。
任期は、お二人とも平成26年9月30日までです。

補正予算が決まりました

Table with 2 columns: 会計名・補正額, 概要. Row 1: 一般会計 (第3号) (1,132万4千円の増額), みやのうえ保育園等の耐震化事業費、農産物の放射能検査を行う環境衛生事務経費、施設改修工事に伴う湯河原町真鶴町衛生組合負担金、児童数の増加に伴うことばの教室整備事業費の増額、国内外親善交流推進事業費、議員期末手当、特別職の期末手当の減額など

主な質疑

- ・ 「ことばの教室」の対象児童数の増加人数と使用頻度
・ まちづくり推進費の減額の理由
・ 放射能検査の内容
・ 衛生費負担金の派遣職員人件費負担金の内容

審議した議案と各議員の賛否（平成23年6月定例会）

○は賛成、×は反対を表しています。

議案番号	議案名	議員名														審議結果	
		山本俊明	室伏友三	村瀬公大	露木寿雄	佐藤恵	長谷川俊子	高橋延幸	内藤陽子	杉本光明	原田洋	丸山孝夫	小澤眞司	土屋誠一	松野満		
30	湯河原町防災基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	湯河原町暴力団排除条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	湯河原町営住宅条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	湯河原町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	湯河原町教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	平成23年度湯河原町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	湯河原町指定金融機関の指定について（株式会社横浜銀行）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37	神奈川県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
39	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができます。
 （本会議の傍聴は、先着20名、委員会の傍聴は、先着6名です。）

受付／開催日の午前9時から
 場所／第1庁舎2階 議会事務局

9月議会日程

- 9月14日（水）午前 本会議（一般質問等）
- 15日（木）午前 本会議（条例・補正予算等）
- 20日（火）午前 環境・観光産業常任委員会
- 22日（木）午前 総務文教・福祉常任委員会
- 27日（火）午前 本会議（決算質疑等）
- 29日（木）午前 決算審査特別委員会
- 30日（金）午前 決算審査特別委員会
- 10月3日（月）午前 行政課題等調査特別委員会
- 3日（月）午後 広域行政特別委員会
- 5日（水）午前 本会議（委員長報告等）

【午前は10時、午後は1時の予定です。】

編集後記

6月定例会では、一般質問に4名の議員が登壇し、3名が東日本大震災を受け地震・津波対策を取り上げました。予想される災害に対し安全・安心のまちづくりを目指す様々な課題に対応することが求められています。毎日のように各地での地震が報道されています。私たちの住んでいるところは比較的、静かですが、大地震が連鎖して起きるのでは、との不安も感じます。地震対策の先進地静岡県などの例なども参考にしながら、さらにいろいろな対策を検討していきます。

（丸山孝夫記）

議会だより編集委員会

- 委員長 内藤 陽子
 副委員長 露木 寿雄
 委員 佐藤 恵・原田 洋・丸山孝夫・小澤 眞司